



あぎやかな バチさばき

元気子ども発表会

市浦小学校五年生による和太鼓「子供ばやし」「十三湊」はみごとなバチさばきでした。

子どもたちの活力が、いやしを与えてくれたステージでした。

特集 未来のよきパパ、ママをめざして

命の大切さにふれる

七月八日コミュニティセンターにおいて体験学習「ふれあいセミナー」が開催されました。

このセミナーは、市浦中学校三年生全員を対象とし、健全な母性、及び父性の意識を育成する機会と、生命の尊さを知ってもらうとおうと開催しているものです。今回、四十人が体験に参加しました。

事前学習では、養護教諭の北澤笛子先生が、動物の赤ちゃん、人間の赤ちゃんの違いについて述べ、いかに人間の赤ちゃんに両親の手がかかっているかと問いかけました。

お母さんが書いた「誕生記」を読み始めるとみんな静かに聞



▲誕生記を読む北澤先生



▲誕生記を聞く生徒達

き入っていました。北澤先生は読み終えた後「両親、周りの人によって、今のりっぱな自分があると思います。親は子をいつも大事に思っているものです」と事前学習のまとめをしました。

セミナーは乳幼児と、生徒をグループに分けて行われました。生徒たちは、おそろおそろ赤ちゃんに触れていました。赤ちゃんも最初に見慣れぬ生徒に泣き出していました。だんだん笑顔を見せ始め、生徒たちも手際よくおむつ交換、着替えをしていました。未来のパパ、ママたちは、すっかり育児に自信を持ったようです。

この授業を受けるまで、どうして赤ちゃんは女の人にしかできないのかよくわからなかったけど、それがよくわかりました。この授業を受けて、人間の生命の誕生は、どれだけ大変かがわかりました。もし、妊娠している人を見かけたら、やさしく接しようと思いました。

セミナーの感想が寄せられましたので紹介いたします。
(一部修正あり)

◆岡 悟くん

今日の話を聞いて感じたことは、赤ちゃんができるということとは大変だと感じました。そして初めて知ってびっくりしたこととは、胎児の時はたつのおとしごのようなのに、成長につれて、だんだん人間らしくなっていくことや、へその緒を通して、栄養をもらっていたり、お腹の中で回転したりしていたことです。今日はとてもいい話を聞くことができました。

◆葛西 陽子さん

赤ちゃんのできた、生まれ方を勉強して、赤ちゃんができるのって簡単じゃないことがわ

絶対、虐待はしない

子どもを愛する親になりたい

かれました。できたとしても、三億分の一の割合で、宝くじを当てるより難しいことがわかりました。母の一生で四百個の卵子が外に放出されるとして、その四百分の一が私って考えればすごいと思っただし、精子は三億分の一つっていうのもすごいと思いました。明日はしっかりやさしく、笑顔で接し、赤ちゃんに泣かれないようにしたいです。

◆鳴海沙也加さん

今日の授業すごくわかりやすく、楽しかったです。最後に、お家の人が書いてくれた作文を聞かせてもらいましたが、みんなすごくかわいがられているように感じました。聞いていて感動しました。午後、赤ちゃん人

形を使って練習しましたが、簡単にに見えて難しかったです。将来、自分に子どもができたら、たくさんかわいがってやり、学んだことを役立てたいと思いました。

◆三和 祐斗くん

赤ちゃんはなにかしてあげないと泣いてしまった。服を脱がせたり、着せたりするのが大変だった。子どもを愛せる、絶対虐待などしない親になりたいと思う。



▲育児は笑顔で!



▲ワーっけこう重い!

◆石岡沙絵香さん

命ができるのはそう簡単ではないと思った。三億分の一の確率で私達は生まれたのには、驚いた。生命が宿るまでみんな頑張っているんだなあと思った。他にも自分が知らなかったことがいっぱいあった。私達が生まれるまでにどんなことが体の中で起きていて、どんな風にして生まれたかがわかった。

体験ではちょっとだけ緊張したけど、とても楽しかった。赤ちゃんはとてもかわいかった。途中、泣かれてしまい困ったこともあったけどすぐに泣き止んでくれたのでよかった。

◆斎藤 好恵さん

今日、「生命の誕生」を学習して命の大切さというものが、本当にわかったし、生まれてくるまでの母親の大変さがよくわ

かった。

生まれてこなくてよい赤ちゃんなんてどこにもいないし、ここまでちゃんとした健康な体を持つていられるのは、周りの人の深い愛情と、協力によって得られたものだということを忘れてはいけない。

たまに、両親とけんかをして、両親への思いは一生忘れてはいけないと思う。

◆本庄 志織さん

今日、生命の誕生を学習して、私が誕生するために、何億という卵子や精子の犠牲が出るのが初めてわかった。その犠牲になったもののために、もっと命を大事にしなくてはと思った。

私が、この世に誕生できたのは三億分の一の確率で宝くじが当たるよりも低い確率なのですごくラッキーなんだと思う。せ



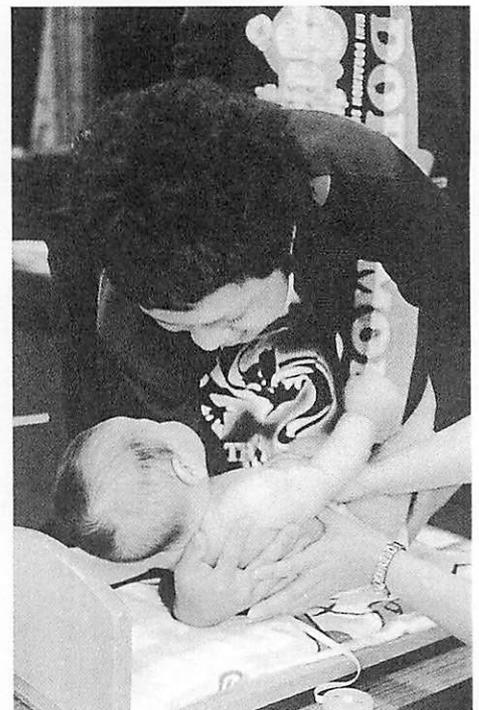
▲お腹いっぱいになったかな

次は、赤ちゃんの生まれ方について勉強しました。お腹に赤ちゃんがいるときを体験して、すごく重いことがわかりました。生まれる時、赤ちゃんも頑張っていることがわかりました。最後に人形の赤ちゃんを使っておむつの取り替え方や、着せ方、脱がせ方をやりました。本物じゃないのにすごく難しかった。

「誕生記」を読ませていただいた、ひとりひとりのお子さんにいろいろなドラマがあったこと、本当に大事に育てられてきたことなどがよくわかり、生命



▲ちょっとだけじーっとしててね



▲大きくなったかな (身長測定)

つかく親からもらった大事な命なので、毎日をせいっぱい生きようと思う。

◆近藤 佑人くん

最初、赤ちゃんのできかたについて、勉強しました。卵子は〇・二ミリメートル、精子は〇・〇何ミリメートルとすごく小さいことがわかりました。受精するのも三億分の一という確率だということが初めてわかってすごいと思いました。

たです。本物の時は、今日習ったことを生かしたいです。

◆岡本 元気くん

僕の家にも姉が二人いてその子どもも二人います。生まれる時のことなどは聞いたことがありません。姉の子どもの世話がよくやっています。だけど生まれるまでにこんなに大変とは思っていませんでした。子どもが生まれるまでのことがよくわかりました。これから、姉の子どもへの世話を一回でも多くやっ

の大切さを改めて感じさせられました。ほのほのとしたお話から、思わず目頭が熱くなるものなど、何回読んでも感動しました。時間の関係で全員分の紹介が出来なかったのが残念ですが、親の思いは、きっと子どもたちも感じてくれたのではないかと思います。

受精から誕生までの授業を二時間受け、赤ちゃん人形を使つてのデモンストレーションを行い、臨んだ本物の赤ちゃんとのふれあい体験。どの子もふざけることなく、真剣に取り組んでくれました。「かわいい、かわいい」の連発で、ふれあいの時間が短すぎる子もいたようです。どのお子さんも一生懸命取り組んでくれました。

ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

地域との信頼関係を大事に歩んだ五十年

金木高校市浦分校が記念式典

十月十一日、金木高校市浦分校において創立五十周年を祝う式典が行なわれ生徒、教職員、PTA関係者約二百五十人が参加しました。

同校は、昭和二十八年に働きながら学ぶ高校としてスタート、その後、三周制導入、相内分校から、市浦分校に改名し、校舎も脇元地区へと移り変わりました。

式典では、岩城徹校長が「スポーツに親しみ、人間性豊かな生徒を育み、更なる飛躍を期待したい」と式辞を述べました。

県立金木高校市浦分校創立五十周年記念事業協賛会長である高松村長が「創立以来、社会に有望な人材を輩出してきました。近年は、ボランティア活動での受賞、陸上大会での優勝等数々の栄誉を手に入れました。五十周年を機に新たな一歩を踏み出してください」と祝辞を述べました。

生徒代表の内海祐太君が「ボランティア活動の海岸清掃をやっている、どんどんきれいになっていくのを見て、やってよかったと思います。また、一人暮



分校賛歌を歌う市浦分校生

らし家庭の除雪作業では（ありがとう、おかげだよ）と言われると誇りに思います。悠遊郷や、アトム保育園との交流では、楽しみや、喜びがたくさんあります。地域との信頼関係を大事にする市浦分校の校風を大事にして、新たな歴史を刻んでいきたいと思います」とあいさつしました。

その後、永年勤続者等に感謝状が贈られました。



祝辞を述べる市浦村長

初めてもらった賞状だよ

アトム保育園児が特選

ど、僕は初めてもらったのでうれしよ」

東奥児童美術展においてアトム保育園児が入賞しました。特にこの東奥児童美術展はレベルが高いと言われているものです。三上かなさんは特選という二番目に高い賞をいただきました。みんな賞状を手にも、にこにこ笑顔で写真に写っていました。結果は次のとおりです。

【絵画の部】

○特選（東奥日報社長賞）

三上かな

○佳作 和田 臯輔

○佳作 伊南 快登

【版画の部】

○佳作 黒川 空悟

▽三上 かなさん

「盾をもらえてとってもうれしいです」

▽和田 臯輔くん

「お兄さん、お姉さんはいっぱい賞状があるけど、僕は初めてなのでうれしいです」

▽伊南 快登くん

「お絵書きは好きだよ」

▽黒川 空悟くん

「去年は、美海がもらったけ



和田臯輔くん

三上かなさん

伊南快登くん

黒川空吾くん

ストップ 高齢者の交通事故

オールシルバー・ライトアップ

高齢者のための交通安全体験教室が十月三十日コミュニティセンターにおいて開催されました。六十五歳以上の高齢者約八十人が参加しました。

金木警察署交通係長の講義では最近の事故状況が説明されました。事故の三割が高齢者で占められている。特に夜間の事故が多くなっている。夜は白っぽい服を着て反射鏡を付ける。また、通夜に行かず葬式に出るようにする。などすぐできるワンポイントアドバイスがありました。その後のビデオ視聴では危険な状況から身を守る方法を学びました。

戸外では、人形の身代り君が、時速六十キロで走ってきた車にはねられた現場を目の当たりにして一様に驚きを見せていました。もともとも事故が多いとされる横断歩道の渡り方では数人に出てもらい、スローモーションで車と歩行者の進み具合を体験し、斜め横断は危険であることを学びました。

また、交通ルールをきちんと守ることによって事故は防げることを確認しました。

「交通安全守って楽しい余生」



▲戸外指導で説明を聞く参加者



▲斜め横断と車の関係を実験

読み聞かせて楽しい

鈴木健二氏が講演

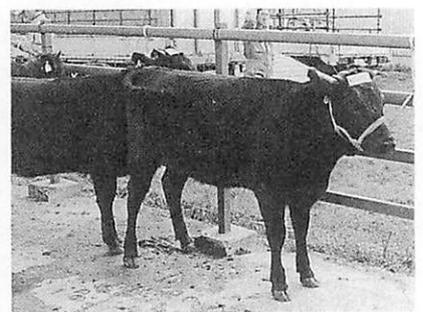
十月二十六日、コミュニティセンターにおいて、青森県立図書館長の鈴木氏を招き「朗読とお話の仕方」について講演があり、高校生、一般住民等、約二十五人が参加しました。

声の出し方から、感情の入れ方等個別に指導があり、最後の紙芝居の読み聞かせの時には、みんなとても上達していました。鈴木氏は「文字を読むのではなく、大切なのは文字の心(文意)を読むこと。常にイメージを頭の中に描いて、聞いている人の身になって読むことにより、読み聞かせが楽しくなる」と講演しました。

夜は、同場所ですず木氏による「宮本武蔵」の朗読があり、聴衆を魅了しました。



▲朗読の基礎は発音から



▲チャンピオンの座に輝いたともかず6

ともかず6に栄冠

第一回津軽北部地域子牛品評会

十一月五日、市浦村実取牧場監視舎構内において、津軽北部地域子牛品評会が行なわれました。この品評会は村の主催から津軽北部農業協同組合主催に変わって一回目となります。

審査に先立ち、中谷会長が「かつて松坂牛と並ぶほど有名になった市浦牛を再び復活させよう。それには何が必要か考えよう」と問題提起し、決意を表明しました。その後審査が行なわれ山田清作氏の「ともかず6」がチャンピオンに輝きました。ちなみに第二位は三和幸夫氏のゆきみ2の3、第三位は相澤治氏のさきくにでした。審査は、栄養度、発育度、品位など諸項目の合計点で決められます。

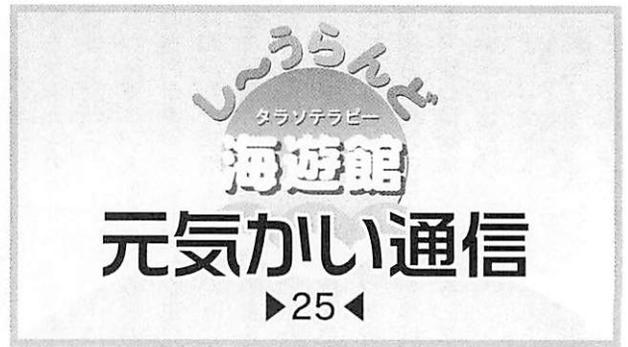
ほのぼのの交流

元気で長生きしてね

アトム保育園児年長組十七名が十月二十一日、悠遊郷を訪れおじいさん、おばあさん達に使用して欲しいと現金とお菓子をプレゼントしました。アトム保育園では、アルミ缶、プルタブをお家の人と一緒に収集しています。今回はその売上金(七千七百三十九円)を社会福祉協議会に寄付したものです。今回で二回目となります。年長組代表で山田丈太郎君が「おじいさん、おばあさん元気で長生きして下さい」と桑野事務局長に手渡しました。桑野事務局長は「今回で二回目です。みんなの温かい気持ちを大切にします」とお礼の言葉を述べました。最後におじいさん、おばあさんと握手をしてお別れをしました。



▲「長生きして下さい」とお菓子をプレゼント



お陰様で3周年!!

最近大分寒くなって来ましたね。みなさんいかがお過ごしでしょうか? ストープの前で丸くなってるだけじゃ肥えてしまいますよ。温かい海水に浸かれれば心も身体も晴れ晴れですよ。前置きはさておき、海遊館は十一月で丸三年を迎えることができました。この三年間で沢山の方々が海水の良さ素晴らしさに触れ、運動の楽しさ、健康の大切さを感じていただけたことを嬉しく思います。海遊館に訪れた方三年間で延べ約十五万人! こんなに沢山の方々に愛さ

れている海遊館なんです。各自治体などからの注目も大きく視察など全国からの注目を集めているのも事実です。そんな最先端の施設がこの市浦にあることは紛れもない事実です。たった三年の浅い歴史ではございますが、そんな海遊館ができたこの三年で市浦村に、そして皆様に変化があったと思います。プールになんか入ったことのないおじいちゃん、おばあちゃん、今では水着のファッションショーしながら、思い思いの水着を身にまとい余裕の笑顔で大行進。十二メートルプールをやっとの犬掻きがすすいすいクロール三十分。あげたらきりがありません。いつも健康的な笑顔が溢れる海遊館です。

そんな皆様の笑顔に感謝! 感謝の三周年です。しかしまだまだ三年。これから五年、十年と皆様と共に海遊館も成長していきたいと思えます。

3周年記念 海遊館元気番付

このように三年間で様々な方々に愛された海遊館、沢山の海遊館フリーク中でも人一倍海遊館を愛して止まない海遊館フリークを海遊館元気番付と題し発表したいと思えます。

(十一月一日現在)



82歳で何とこの若さ 元気はつらつの成田サナさん

《男性》 佐々木廣志様 84歳 (中里)
《女性》 成田 サナ様 82歳 (脇元)



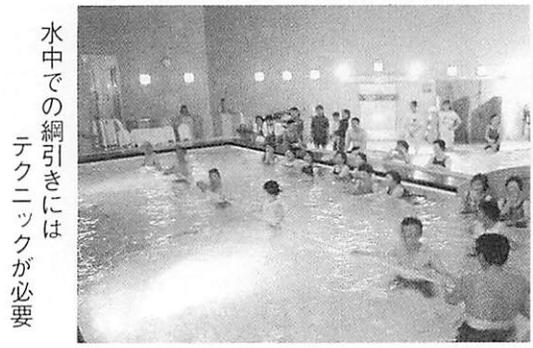
最多利用で体重もかなり落としたという竹谷さん

★最多利用回数
この三年間で最も海遊館に足を運んでくれた方です。海遊館スタッフよりも海遊館に来てます! (これホント)
○竹谷 ヨシエ様 (通算...823回)



こんなユーモアな一場面も (会員とスタッフで)

★最遠方会員
いくら遠くても海遊館に足を運んでくれる方です。誰よりも海遊館の良さを知っている人かもしれません。
○越山 成憲様 ご夫妻 (弘前) 推定距離55km (直線距離)
いやいや本当に皆様には頭が下がります。現在会員制度のほかにタラソファンという準会員制度がございますが、その中には三沢や八戸の方、更には秋田から定期的に通われている方もいらっしゃいます。この様に沢山の海遊館フリークがいらつしやることはとても心強く、誇りに思います。
もちろんこれからも益々皆様にあえられる海遊館でありたいと思えます。



水中での綱引きには テクニックが必要



シンク口が披露されました

思います。その為にはスタッフ一同努力を惜しまず、精進してまいりますのでこれからもどうか海遊館をよろしくお願い致します。



地域づくりは人づくり 人づくりは生涯学習

教育委員会だより No.24

地元校は惜しくも準V

第28回トリム野球大会

九月二十七、八日の二日間にわたって、第二十八回トリム野球大会（市浦村教育委員会主催）が山村広場、市浦中学校グラウンドを会場に行われました。

この大会には、当村の市浦中学校、市浦野球クラブを含め、近隣の五町村から小学校九校、

中学校五校が参加しました。開会式では、成田修平くん（市浦小六年）が力強く選手宣誓を行い、その後、熱い戦いが繰り広げられました。

小学校の部では、市浦野球クラブが二回戦、準決勝と勝ち進み、決勝では金木クラブと対戦。最終回に同点に追いつき、延長戦に突入するも、特別ルールの末、惜しくも敗れました。中学校の部でも、市浦中学校が決勝にコマを進めましたが、金木中学校に接戦の末、惜しくも準優勝に終わりました。

村内の小、中学校の主な結果と個人賞は次のとおりです。

【小学校の部】



▲準優勝の市浦中野球部



▲準優勝の市浦野球クラブ

▼二回戦

市浦ク 11-4 下前ク

▼準決勝

市浦ク 8-5 中里北光ク

▼決勝

市浦ク 000000246

金木ク 010100005×6
7

（特別ルール採用）

（市）工藤康敬・秋田竜也

（金）角田一工藤

【中学校の部】

▼準決勝

市浦中 5-2 小泊中

▼決勝

市浦中 000000000

金木中 1000000001

（市）新岡詳久・山崎 俊

（金）白川・秋元

◎三塁打 山崎 俊（市）

【個人賞】

★敢闘賞 久保田聖也（市浦中）

成田 修平（市浦ク）
★優秀選手賞

新岡 詳久（市浦中）
近藤 芳紀（市浦ク）

そばの脱穀作業を体験

しらす子ども未来塾



▲一生懸命に取り組んでいました

しらす子ども未来塾では、年間を通して、そば打ち体験に取り組んでいます。

七月には種まき、十月初めに刈り取り、そして今回、十月二十八日に脱穀を旧中学校青雲寮において行いました。

子ども達は、二人一組となりそばを選別し、初めての体験を楽しそうに作業していました。次はいよいよそば打ちと試食です。今から心待ちにしています。

お知らせ

自鳥のえさのご協力を

白鳥が十三湖に飛来する季節がやってきました。白鳥はえさの量が増えれば、羽を休める白鳥の数も増えると言われています。教委では、パン・くず米・くずりんごなどの確保に努めていますが、それでも不足しています。知り合いの方に声をかけるなど、えさの確保にご協力願います。（☎62-3751）



心をなごませてくれます。

平成15年度

市浦村敬老会

長生きに挑戦しよう

東方

平成15年

市浦村長寿番付

平成15年9月1日現在

西方

位	氏名	世帯主	年齢	生年月日	地区	位	氏名	世帯主	年齢	生年月日	地区
横綱	山田	ヨ	102	M.33.11.2	脇元 脇元 磯松 脇元	横綱	武田	長治男	98	M.38.5.24	太田 脇元 脇元
	榑引	ワ	97	M.38.10.12			小寺	繁則	97	M.38.10.12	
	伊南	ワ	97	M.38.11.1			葛西	敬太郎	97	M.39.2.8	
	山田	一	96	M.40.4.29							
大関	高松	ヤ	95	M.40.10.1	十三 脇元 十三	大関	佐々木	本	95	M.40.11.24	相内 脇元
	小田	イ	95	M.40.11.27			渡木	祐一	95	M.41.2.1	
	越谷	せ	95	M.41.2.3							
関脇	榑引	ワ	94	M.42.2.20	脇元 十三 相内	関脇	奈良	國	93	M.42.10.19	太田 十三 相内
	豊島	三	92	M.43.12.1			相坂	利徳	92	M.44.3.27	
	大性	喜	92	M.44.4.11			三和	徳衛	92	M.44.7.1	
小結	秋元	ヨ	91	M.44.9.15	脇元 十三 磯松 磯松	小結	佐藤	本	91	M.44.11.10	脇元 脇元 太田 磯松
	白川	次	91	M.44.12.20			成田	本	91	M.45.1.9	
	佐々	郎	91	M.45.2.2			奈山	本	91	M.45.4.13	
	川上	マ	91	M.45.4.16			山田	本	91	M.45.7.12	
前頭	成田	み	90	T.元.9.20	脇元 十三 十三 相内 磯松 脇元 相内 脇元 相内 脇元 脇元 相内	前頭	相川	志	90	T.元.10.2	十三 脇元 脇元 脇元 脇元 十三 十三 相内 十三 磯松 桂川
	秋月	之	90	T.2.1.19			山中	仁	90	T.2.3.19	
	豊島	之	90	T.2.5.29			中倉	本	90	T.2.6.22	
	田中	雄	90	T.2.7.3			亀倉	本	90	T.2.7.30	
	和有	け	90	T.2.8.17			石相	市	90	T.2.8.26	
	伊三	マ	90	T.2.9.1			内川	男	89	T.2.9.2	
	三上	江	89	T.2.9.30			相内	本	89	T.2.10.1	
	三上	雄	89	T.2.10.21			内棍	本	89	T.2.10.31	
	三上	ツ	89	T.2.11.13			三和	敏	89	T.3.1.28	
	三上	ま	89	T.3.2.19			三島	道	89	T.3.2.23	
	成田	る	89	T.3.3.3			村元	三	89	T.3.3.10	
	成田	磨	89	T.3.3.17			石井	郎	89	T.3.3.10	

顕彰状受賞者

成田 とみ・相川 ツエ
 秋月 ソ子・山田 佐一郎
 豊島 幸之助・中村 ちせ
 田中 文雄・亀倉 ちさ
 和嶋 たけ・石岡 き江
 有馬 トマ・相川 ツマ

平成十五年市浦村敬老会が、敬老の日の九月十五日、コミニユティセンターで開催されました。

今年の対象者（平成十六年四月二日までに七十五歳を迎えられる方）四二九人（男百一五七人、女二七二人）のうち約百五十人が参加しました。主催者である奉仕団委員長が「生きてきた歴史を子や孫に伝えていかなくてはならないのではないかと、余生を精一杯頑張っていこう」と歓迎のあいさつをしました。

つづく、高松村長のあいさつでは、「人が老いるのは心の問題である。若さを保つ大きな要因は目的をもつこと。何かに挑戦していくことが長生きに挑戦していくことです」と述べました。

工藤武則議長が「何かあった時は、老人だけの問題にせず地域でやろう。医療、福祉、保健



今年も元気な姿を見せてくれました



顕彰状を受け取る受賞者

を家庭に出勤します。来年もまた、元気な姿でお出ください」と祝辞を述べました。その後、顕彰状、記念品が贈られました。昼食を食べながらのアトラクションでは、各分団が踊りや歌を披露し楽しいひと時を過ごしました。

2003

今年もにぎやかに

ふるさとまつり

11月1、2日の2日間、コミュニティセンターで開催され、村内外から約2,000人の人が訪れにぎわいました。

展示コーナー



消防署職員による踊り「なんでだろう」



フリーマーケットコーナーでは格安さがうけた



物産まつりコーナーは一番のにぎわいでした



婦人防火クラブ員によるハワイダンスに拍手かっさい



歯みがきしていますか？



市浦小学校2年生による劇



ほぐストレッチで心も身体もリフレッシュ



森田むらおのマジックショー「種もしかけもありません」



心のごもった一服にいやされました

バイオマス戦略策定推進委員に委嘱状交付

十月一日、役場あすなるホールにおいて、第一回バイオマス戦略策定委員会議が開かれました。策定委員十三人に高松村長より委嘱状が交付されました。

この委員会はアドザイザー、事務局を含め二十二人で構成されています。

村内に豊富に存在する地域資源（木質バイオマス、家畜の排泄物、稲わら、下水汚泥等）の

有効活用を進めることによりそのエネルギー等を活用した「冬の農業」を推進し、資源循環型産業を形成するために設置されたものです。今後はバイオマス戦略策定の基本方針の策定、バイオマスプラント等の整備計画の策定等を行なっていくものです。

アドザイザーの(株)ユニバーサルデザイン総合研究所長の赤平

みんなで木を植えてきれいな水を作ろう

第二十五回 北五地方植樹祭

十月二十三日、大沼公園において北五地方植樹祭が開催され、緑の少年団を含む関係者約百人が出席しました。はじめに北五地方林業振興協議会長の中野肇司氏が「みんなで、木を植えてきれいな水を作ろう。やる気、本気、元気の三つの木をプレゼントします」とあいさつしました。

意味を持つのか問いたただす機会にしていたきたい」とあいさつしました。つぎに北五地方林業振興協議会長より表彰状が授与されました。

◎平成十五年度北五地方緑化功



記念碑はここではないかな

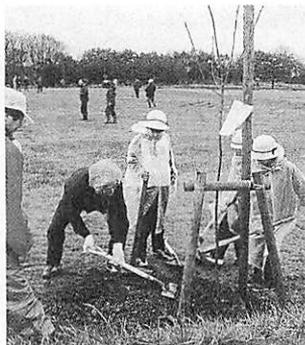
学氏の講演では「冬の農業」についてのメリット、成果等について述べました。



委嘱状を受け取る推進委員

～～～

労働者・十三漁業協同組合
◎平成十五年度活動優良緑の少年団・市浦小学校緑の少年団
続いて市浦小学校、緑の少年団の代表が「水、海、湖、山と自然豊かな場所で植樹祭を行うことを誇りに思います。これからも緑化活動を続けていきます」とあいさつしました。



植樹をする緑の少年団

カメラルポ市中祭

～10月19日開催された市中祭での一コマ～

テーマは『前進』



国民年金コーナー

国民年金は老後に！不測の事態に！

国民年金は、働く世代が出し合った保険料と税金を合わせて、老齢の世代に年金を支給して経済的に援助する、世代間の支え合いの制度です。

また、老後だけではなく、思わぬけがや病気で障害者になったとき、配偶者を亡くして遺族になったときにも年金が支給されるといった制度でもあります。国民年金は、老後のものとして考えるだけではなく、今現在の「もしも」に備えるものとして正しく理解してください。

年金受給者等に対する不審な電話や文書の送付について

年金受給者や被保険者及びその家族に対して、社会保険職員や日本国民年金協会の名を騙って「年金の払い過ぎがあったので、指定の銀行口座に振り込むように。振り込まない場合、次の年金支払いを停止する」ともに東京地方裁判所に損害賠償請求の訴訟を提訴し、資産を差し押さえる「国民年金が未納であるので、至急払うように」といった電話や文書が送付、

「医療費の払い戻しや社会保険の手続きのため手数料が必要」と訪問するなどの事例があり、被害も発生しています。

社会保険庁、地方社会保険事務局や社会保険事務所、日本国民年金協会では、指定口座に現金の振込みを依頼したり、社会保険の手続きのための手数料と称して現金を徴収することはないので、くれぐれもご注意ください。

なお、不審な電話や文書等を受けた場合には、直ちに社会保険事務所等にご連絡してください。

▼青森社会保険事務局

〇一七―七三一―二二二八

▼弘前社会保険事務所

〇一七―二二七―一三三七

▼日本国民年金協会

〇三―五三五―八四二五二

年金Q&A

Q 国民年金などの公的年金は、将来、破綻するなどと噂されていますが大丈夫ですか？
決して破綻することはありません。国民年金などの公的年金

制度は、国が長期的な見直しをたてながら責任をもって運営しています。

変化する社会情勢に対応すべく五年ごとに見直しを行い、制度の安定を図っているから安心です。

また、基礎年金として支払われる費用のうち、三分の一（将来は二分の一の予定）を国が負担して年金支給額を確保しています。

「まわりの人が保険料を納めていないから」とか「自分が年を取った頃には破綻する」などという噂に振り回されることなく、いま着実に保険料を納めないと、年を取った時、万が一の時、本当に後悔することになりかねません。



消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

職場体験学習行われる

実際に働く事を通して、職業への意識を高め、自己の進路を考えながら、社会人としての資質を身につけさせる事を目的に、十月三日市浦中学校の生徒三名が職場体験に訪れました。放水訓練や救助訓練を行い、だいぶ疲れたようです。

避難訓練行われる

十月十五日、市浦分校において避難訓練が行われました。災害発生から避難、通報と災害を想定した訓練がテキパキと行われました。

訓練終了後には応急手当講習会が行われました。



秋の火災予防運動行われる

「その油断 火から炎へ 災いへ」の全国統一標語のもとに十月二十日から二十六日の間、秋の火災予防運動が行われました。十月二十日には一日消防署長に柏谷祐美子さん、一日消防団長には平山ひとみさんが任命されました。

辞令交付後、消防署、消防団、婦人防火クラブ、幼年消防クラブの四者合同で車両と歩行によるパレードを行い火災予防を呼びかけました。火災予防運動期間中、消防署では防火対象物の立入検査（消防設備等の点検、確認）を行いました。



自衛官募集相 談員を委嘱

自衛隊青森地方連絡部では、本村の自衛官募集相談員として下澤徳三さん(太田)浜田一造さん(十三)の二人を委嘱しました。自衛官募集に係る相談等についてお気軽にご相談下さい。

▼お問い合わせ

- 下澤 徳三
☎〇一七三一六二一三三八六
- 浜田 一造
☎〇一七三一六二一三二七七

下澤 徳三さん



浜田 一造さん



おめでとう

◆第七十八回日本珠算連盟段位 認定試験合格者

- ・準初段 山田 千草
- ◆第六十八回日本商工会議所
珠算能力検定試験合格者
- ・三級 山田 竜太郎
- ・四級 小笠原 優希乃
- ・五級 竹谷 真希子
- ・大澤 藍加
- ・本 荘 啓
- ・藤 田 剛
- ・田 中 裕 仁
- ・工 藤 吏 生
- ・成 田 拓 弥
- ・工 藤 実 紗
- ・大 澤 歩
- ・九級

製造事業者の 皆様へ

経済産業省では、工業統計調査を平成十五年十二月三十一日現在で実施します。

工業統計調査は、製造業を営むすべての事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。

調査結果は、国や地方公共団

◆第百三十回全国商工会珠算検 定試験合格者

- ・二級 藤 田 英
- ・二級 秋 田 雅 治
- ・三級 小笠原 優希乃
- ・四級 竹 谷 真希子

山田 千草さん



小笠原 詩帆
松 橋 僚 太

以上、「市浦珠算学院」

体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学などでの研究資料、小・中・高等学校の教材など、広く利用されているところで、皆様から御提出していただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確な御記入をお願いします。

▼経済産業省
青森県・市浦村

どんな活動しているの(子育て支援センター) こんな活動しています

12・1月行事予定

子育てサークル「ママーレ」の会

★遊ぼう会

○日時 十二月二日・九日

○場所 子育て支援センター

★お話し会

○日時 十二月五日

○場所 子育て支援センター

★おしゃべりタイム

○日時 十二月十二日

○場所 子育て支援センター

★クリスマス会

○日時 十二月十六日

○場所 子育て支援センター

★エンゼル愛相教室

○日時 十二月二十四日

○場所 子育て支援センター

★作ってみよう

○日時 一月十六日

○場所 子育て支援センター

★お誕生会

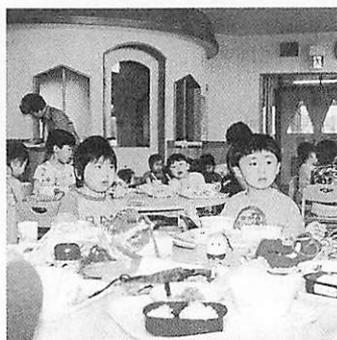
○日時 一月二十四日

○場所 子育て支援センター

★その他

○遊ぼう会・毎月第一火曜日

○お話し会・毎月第一金曜日

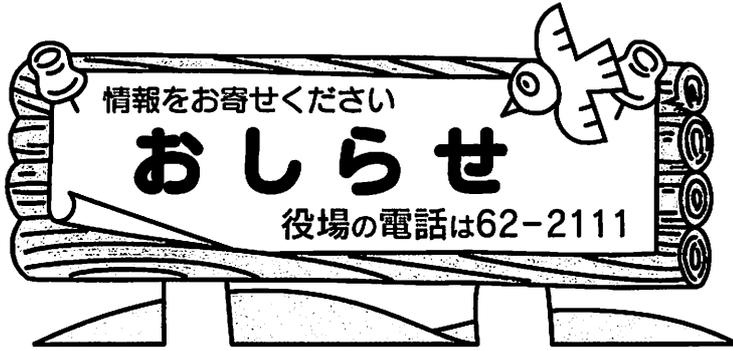


たからっ子

安田 愛 梨ちゃん
古川 房子さん
(おばあちゃん)



ケーキよりお友達が
気になって...



市浦村の人口と世帯数 平成15.10.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,151	1,153	402
桂川	58	57	21
太田	238	238	82
脇元	500	500	199
磯松	283	283	106
十三	782	784	265
計	3,012	3,015	1,075

愛犬をつないでおいてね！
東北電力からお願

最近犬を飼う家庭が増え、犬による検針員の咬傷事故が多くなっています。日頃の管理には、十分注意されていると思いますが、検針員が正確・安全に検針するため、愛犬を確実につないでいただくようお願い致します。なお、つなぐ場所は玄関先やメーター器の下を避けていただければ幸いです。

▼お問い合わせ

東北電力(株) 五所川原営業所
☎〇一七三―三五―二二五―



平成16年度青森県立木造
高等技術専門校生募集

◆募集人員

溶接科・建築科・配管科
各二十名

◆募集期間

平成十六年一月五日

～二月十七日

◆訓練期間

平成十六年四月～

平成十七年三月(二年)

◆応募資格

離転職者などで再就職のため、職業に必要な技能と知識と熟意を持つて習得したい方(年齢・性別は問いません)。

◆応募手順

願書に必要事項を記入し、最寄りの公共職業安定所へ(願書は公共職業安定所に用意してあります)。

◆選考日

平成十六年二月二十五日(水)

▼お問い合わせ

青森県立木造高等技術専門校
木造町字桜木一七―二
☎〇一七三―四二―二四二四
※又は最寄りの公共職業安定所まで

冷災害等に係る被害者に対する生活相談所開設

県では、今年の冷災害などによる被災農家等の生活の早期安定支援として、「生活相談所」を各町村に開設することになりました。

場所は役場会議室で、午後一時から三時までとなります。毎週金曜日で次のとおりとなりますので御利用ください。

◎十二月五日、十二日、十九日、二十六日

青森県産別最低賃金改正のお知らせ

青森県最低賃金は平成十四年十月一日から引き続き一時間六〇五円です。

業	1時間	平成14年12月21日から
鉄鋼	721円	
業	1時間	平成15年12月21日から
電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 電子部品・デバイス	665円	
業	1時間	平成15年12月21日から
各種商品小売業	661円	
業	1時間	平成14年12月21日から
自動車小売業	700円	

▼お問い合わせ

青森労働局賃金室
☎〇一七―七三四―四一四
(直通)

※または各労働基準監督署まで
五所川原労働基準監督署
☎〇一七三―三五―二三〇九

しらす誕生50年記念誌発行
あなたも参加しませんか

昭和三十年(一九五五年)誕

生じた市浦村も平成十七年(二〇〇五年)で五十歳になります。村では半世紀の歩みを記念誌に綴り、後世に伝えたいと思っております。

この記念誌にあなたの思い出の一枚を載せてみませんか。市浦村誕生前後の、またそれ以降の市浦村とあなたの出来事の写真、新聞記事等お貸しください。大切な写真・記事等はこちらで責任を持ってお返しします。

◆受付期間

平成十五年十二月一日～平成十六年三月三十一日

▼お問い合わせ

市浦村役場総務課企画財政係
山田(☎六二―二二―)

県内の交通事故概況

		青森県交通対策協議会	
	10月中	年累計	死者の状態
発生	841件(-31)	7,444件(+69)	飲酒運転による死者 9人(-2)
死者	10人(-2)	76人(-11)	高齢者の死者(65歳以上の人) 32人(-4)
傷者	1,017人(-43)	9,370人(+57)	自動車乗車中の死者 38人(-4)
			非着用死者 17人(-5)
			着用していれば助かったと思われる人 8人(-4)

* ()内は前年。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。

健康への道

No.165

健康に及ぼすたばこの害 ～未成年者の方、知っていますか？～

たばこに含まれる有害物質は表のとおりで、体に与える影響が大変、大きいことが分かります。また、女性の大敵、美容にも様々な影響を与えます。目尻や口元にしわが増えたり、たばこのヤニにより歯が汚くなるなど、非喫煙者に比べ、約五倍も美容上のトラブルを抱えると言われています。

現代はたばこの自動販売機で

誰でも気軽にたばこを手に入れることや親や兄弟姉妹が喫煙し、家庭内にたばこを置くことで容易に喫煙できる環境にあります。

これからの時代を担う、大切な子ども達がつくりあげる「無煙世代」を家庭や学校、そして地域が一体となって育てていきたいものです。

日本では、未成年者の喫煙が法律で禁じられていることは、皆さんご存知のことと思います。しかし、最近では街で堂々と喫煙している未成年者や制服姿でたばこを買う姿をあちらこちらで見かけます。

国による全国調査では、高校三年生の男子で二十五・九%、つまり四人に一人が毎日、喫煙しているという結果が出ました。喫煙のきっかけは「友達にすすめられ」「好奇心で」などがあげられます。

では、なぜ未成年者の喫煙はいけないのでしょうか。未成年者の体は成長発達段階にあり、細胞分裂や新陳代謝が活発で、たばこに含まれる有害物質を吸収しやすい状態にあります。未成年から喫煙した場合、病気になる確率も高くなり、さらに依存も強くなり、やめたくてもやめられない状態になります。



たばこの煙に含まれる有害物質の正体を知れば、その怖さと害がわかります。

- ニコチン → ゴキブリの殺虫剤の成分
- ヒ素 → 農業として使われてきた毒物
- カドミウム → イタイイタイ病の原因
- ベンゼン → ガソリンの成分
- ホルマリン → 死体や生物標本の防腐処理剤
- トルエン → シンナーの主成分
- フェノール → 消毒殺菌剤の成分
- シアン化水素 → 殺鼠剤として使われる



戸籍の窓

▼お誕生

安保 伊織(相内) 省 武

▼ご結婚

- 葛西 寿(板柳)
- 長尾 ゆう子(十三)
- 大谷 亮(千葉)
- 濱田 美和子(十三)
- 増田 秀樹(三重)
- 宮本 奈津妃(相内)
- 工藤 浩之(十三)
- 加賀屋 順子(青森)

▼おくやみ

- 越谷 とせ(十三) 95歳
- 奈良 ツヤ(太田) 83歳
- 三浦 正志(相内) 62歳
- 木村 由雄(十三) 71歳
- 工藤 はる(脇元) 87歳
- 依谷 節雄(脇元) 61歳

あとがき

帰宅途中、十三湖大橋から眺める十三湖はきらきら輝いていました。おりしも満月の日でした、湖面に満月が映し出され、あたかもお月さまが二つあるのかなと錯覚するような光景でした。

一躍、脚光を浴び始めた十三湖。なんだかとても大きく大きな湖になったような気がします。波風が立つことなく、いつもお月さまや、お星さまを映し出すきらきらと輝く鏡のような美しい十三湖であって欲しい。最近通るたびにそんなことを考えています。

鈴木健二氏が講演会で言っていたのを思い出しました。その町の特徴となっていることをキヤッチフレーズとして売り出すことが町おこしにつながると。この際「お月さまが二つある町」を十三湖から全国へ発信してみたいかがでしょう。

